

平成30年7月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

輸出額は「科学光学機器」などは減少したものの、「石油製品」、「鉱物性タール及び粗製薬品」などが増加したことから、対前年同月比22.8%の増加となった。また、輸入額は「液化天然ガス」などは減少したものの、「原油及び粗油」、「石油製品」などが増加したことから、同39.0%の増加となった。

これにより差引額は、673億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	735億円	+22.8%	1,408億円	+39.0%	▲673億円	+62.4%
	3カ月連続の増加		4カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率		
輸出	増加品目	(1) 石油製品	110億円	12倍	輸入	増加品目	(1) 原油及び粗油	826億円	+95.9%		
		(2) 鉱物性タール及び粗製薬品	49億円	+470.7%			(2) 石油製品	78億円	+62.6%		
		(3) 有機化合物	58億円	+63.9%			(3) 非鉄金属鉱	12億円	86倍		
	減少品目	(1) 科学光学機器	15億円	▲63.2%		減少品目	(1) 液化天然ガス	188億円	▲20.3%		
		(2) 半導体等電子部品	7億円	▲73.2%			(2) 石炭	12億円	▲68.7%		
		(3) 原動機	15億円	▲30.2%			(3) 生ゴム	18億円	▲24.0%		
	地域別動向		増加：アジア、大洋州 など 減少：中東 など				地域別動向				
							増加：中東、中東欧・ロシア等 など 減少：大洋州 など				

（参考）ドルレートは、110.78円（前年同月比1.5%、1.63円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

（注）本資料中の伸率及び増減表記は、前年同月との比較による。